

2025年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月1日

上場会社名 株式会社オプトエレクトロニクス 上場取引所 東
 コード番号 6664 URL <https://www.opto.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 俵 政美
 問合せ先責任者 (役職名) 社長付管理部長 (氏名) 庭井 貴治 TEL 048-446-1181
 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年11月期第3四半期の連結業績（2024年12月1日～2025年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年11月期第3四半期	4,882	6.1	△158	-	△285	-	△98	-
2024年11月期第3四半期	4,601	△11.3	△330	-	△276	-	△330	-

(注) 包括利益 2025年11月期第3四半期 246百万円 (12.6%) 2024年11月期第3四半期 218百万円 (45.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年11月期第3四半期	△15.94	-
2024年11月期第3四半期	△53.44	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年11月期第3四半期	12,037	5,148	42.8
2024年11月期	13,513	4,901	36.3

(参考) 自己資本 2025年11月期第3四半期 5,148百万円 2024年11月期 4,901百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年11月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2025年11月期	-	0.00	-	-	-
2025年11月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年11月期の連結業績予想（2024年12月1日～2025年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,669	5.2	△194	-	△357	-	△170	-	△27.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年11月期3Q	6,578,000株	2024年11月期	6,578,000株
② 期末自己株式数	2025年11月期3Q	400,048株	2024年11月期	400,048株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年11月期3Q	6,177,952株	2024年11月期3Q	6,177,952株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。また、実際の業績は業況の変化等により大きく異なる可能性があります。当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2024年12月1日～2025年8月31日)における当社グループは、前年同期比にて増収、経常損失の額が微増となる一方で、営業損失、親会社株主に帰属する四半期純損失とも損失の額が縮小しました。自動認識業界の世界的な状況としては、部品価格が上昇する一方、顧客の設備投資の抑制等により需要が減少していること等から、厳しい状況が続いておりましたが、国内の一部顧客から受注が入り始めるなど、主要顧客の在庫調整に改善の兆しが見られる状況となっております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、48億82百万円(前年同期比6.1%増)となりました。

セグメントの内訳を示しますと、日本では23億12百万円(前年同期比16.9%増)、米国は9億28百万円(前年同期比4.5%増)、欧州・アジア他は16億40百万円(前年同期比5.4%減)となりました。

日本国内においては、一部の大口顧客から受注が入ったことなどから、売上は前年同期比で大幅な増となりました。米国においては、業界不況のあおりを受け在庫調整が続いているものの、一過性の大口出荷があったことから、前年同期比売上増となりました。欧州・アジア他においては、業界不況のあおりを受け、さらに在庫調整が続いていることから、前年同期比売上減となりました。

利益面では、営業損失が1億58百万円(前年同期は3億30百万円の営業損失)となりました。主な要因は、原材料価格上昇による粗利減少により売上総利益が53百万円減少した一方、コスト削減により販売費及び一般管理費が2億25百万円減少したことなどによるものです。

また、経常損失が2億85百万円(前年同期は2億76百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失が98百万円(前年同期は3億30百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。主な要因は、経常損失については、為替差損益が1億78百万円悪化したこと、親会社株主に帰属する四半期純損失については、訴訟が和解に至ったことから訴訟損失引当金を全額取り崩した上、2億29百万円の特別利益計上を行ったことによるものです。

当第3四半期連結累計期間においての為替レートは、1ドル=149.71円、1ユーロ=162.70円で算出しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は120億37百万円となり、前連結会計年度末と比較して14億75百万円減少いたしました。主な要因は、借入金の減少等による現金及び預金の減少9億93百万円のほか、商品及び製品の減少3億90百万円、原材料及び貯蔵品の減少1億35百万円等により流動資産が14億43百万円減少したことによるものです。

負債は68億89百万円となり前連結会計年度末と比較して17億22百万円減少いたしました。主な要因は、訴訟の和解による訴訟損失引当金の減少8億53百万円、流動負債その他の増加5億83百万円のほか、1年内返済予定の長期借入金の減少4億43百万円、短期借入金の減少1億23百万円等により流動負債が7億23百万円減少したこと、長期借入金の減少9億98百万円等により固定負債が9億99百万円減少したことによるものです。

なお、純資産は51億48百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億46百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金の減少98百万円、為替換算調整勘定の増加3億46百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月25日にお知らせのとおり、米国HONEYWELL INTERNATIONAL, INC.、及びその子会社2社から当社に提起されていた訴訟及び関連する訴訟が和解に至ったこと、米国及び欧州・アジア他において、業界不況のあおりを受け、在庫調整が続いているなど、売上高、営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失とも予想を下回る可能性が高くなったことなどから、本日公表の「営業外費用及び特別利益の計上並びに2025年11月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり業績予想を修正いたしました。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、2024年11月期において、2期連続で営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失を計上しております。また、2期連続で営業キャッシュ・フローのマイナスも計上しております。また、一部の取引金融機関からの借入金については、現時点では期限の利益の喪失に係る条項を適用する旨の通知を受けていないものの財務制限条項に抵触しております。当該事象により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在しております。

当該状況を解消するため当社グループは、以下の対応策を実施いたします。

- ① 業務人員の縮小、賞与削減による人件費及びその他経費削減
- ② 製造コスト低減した新製品開発及び販売による売上総利益率の改善
- ③ 売値値上げによる売上総利益率の改善

④役員報酬の返上

また、資金繰りについては、現金及び預金残高は37億8百万円と十分であることに加え、上記対応策による早期の黒字化を計画しており、さらに各取引金融機関には今後の計画及び上記対応策の実施に関する説明と進捗に関する適時の報告を実施することで、継続的な交渉を行っており、今後1年間の資金繰りに懸念はないと判断しております。

以上のことから、継続企業の前提に関して重要な不確実性は認められないと判断しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,701,792	3,708,378
受取手形及び売掛金	1,566,514	1,550,781
有価証券	354,626	468,166
商品及び製品	2,216,893	1,826,552
仕掛品	135,413	105,826
原材料及び貯蔵品	1,568,542	1,432,987
その他	316,112	325,424
貸倒引当金	△23,476	△25,617
流動資産合計	10,836,418	9,392,501
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,327,435	1,287,636
機械装置及び運搬具(純額)	182,287	211,755
工具、器具及び備品(純額)	108,313	129,996
土地	554,178	554,178
リース資産(純額)	1,606	1,154
建設仮勘定	79,861	47,445
有形固定資産合計	2,253,683	2,232,167
無形固定資産		
その他	270,393	261,576
無形固定資産合計	270,393	261,576
投資その他の資産		
投資有価証券	8,000	6,873
繰延税金資産	1,991	1,408
その他	143,104	143,072
投資その他の資産合計	153,096	151,353
固定資産合計	2,677,173	2,645,098
資産合計	13,513,592	12,037,599

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	369,712	441,383
短期借入金	243,349	120,018
1年内返済予定の長期借入金	2,363,949	1,920,654
未払法人税等	31,124	49,883
賞与引当金	—	22,034
訴訟損失引当金	853,000	—
その他	486,646	1,070,630
流動負債合計	4,347,781	3,624,603
固定負債		
長期借入金	4,220,376	3,221,765
リース債務	1,215	682
繰延税金負債	32,537	31,704
その他	9,683	10,304
固定負債合計	4,263,812	3,264,456
負債合計	8,611,594	6,889,059
純資産の部		
株主資本		
資本金	942,415	942,415
資本剰余金	219,136	219,136
利益剰余金	2,866,913	2,768,435
自己株式	△212,442	△212,442
株主資本合計	3,816,023	3,717,544
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,501	3,375
為替換算調整勘定	1,081,473	1,427,619
その他の包括利益累計額合計	1,085,974	1,430,995
純資産合計	4,901,998	5,148,540
負債純資産合計	13,513,592	12,037,599

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)
売上高	4,601,110	4,882,210
売上原価	2,657,743	2,992,228
売上総利益	1,943,367	1,889,982
販売費及び一般管理費	2,274,035	2,048,399
営業損失(△)	△330,668	△158,417
営業外収益		
受取利息	49,208	58,419
為替差益	33,867	—
受取賃貸料	11,831	11,322
その他	1,896	436
営業外収益合計	96,803	70,178
営業外費用		
支払利息	41,498	47,660
為替差損	—	144,353
固定資産除却損	970	4,944
支払手数料	310	153
その他	3	145
営業外費用合計	42,783	197,256
経常損失(△)	△276,648	△285,495
特別利益		
訴訟損失引当金戻入額	—	229,628
特別利益合計	—	229,628
税金等調整前四半期純損失(△)	△276,648	△55,867
法人税、住民税及び事業税	24,516	42,849
法人税等調整額	28,965	△238
法人税等合計	53,482	42,610
四半期純損失(△)	△330,130	△98,478
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△330,130	△98,478

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)
四半期純損失(△)	△330,130	△98,478
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,467	△1,126
為替換算調整勘定	547,574	346,146
その他の包括利益合計	549,041	345,020
四半期包括利益	218,910	246,542
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	218,910	246,542

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	米国	欧州・アジア 他	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,978,107	889,141	1,733,861	4,601,110	—	4,601,110
(1) 外部顧客への売上高	1,978,107	889,141	1,733,861	4,601,110	—	4,601,110
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	505,931	2,355	21,006	529,293	△529,293	—
計	2,484,038	891,496	1,754,868	5,130,403	△529,293	4,601,110
セグメント損失(△)	△39,807	△225,230	△161,642	△426,680	96,012	△330,668

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間の取引消去であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	米国	欧州・アジア 他	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	2,312,773	928,757	1,640,680	4,882,210	—	4,882,210
(1) 外部顧客への売上高	2,312,773	928,757	1,640,680	4,882,210	—	4,882,210
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	560,351	3,690	16,712	580,754	△580,754	—
計	2,873,124	932,448	1,657,392	5,462,965	△580,754	4,882,210
セグメント利益又は損失(△)	101,061	△171,913	△85,635	△156,487	△1,930	△158,417

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)
減価償却費	121,238千円	123,730千円